

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年8月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 シダー

コード番号 2435 URL <http://www.cedar-web.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山崎 嘉忠

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長

(氏名) 松尾 剛

TEL 093-513-7855

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	2,266	4.8	150	449.7	155	251.2	89	296.2
23年3月期第1四半期	2,162	8.2	27	△74.9	44	△51.3	22	△56.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	15.56	—
23年3月期第1四半期	3.93	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	10,041		1,282			12.8
23年3月期	9,132		1,250			13.7

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 1,282百万円 23年3月期 1,250百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
24年3月期	—				
24年3月期(予想)		0.00	—	10.00	10.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,541	4.5	130	38.8	147	14.8	82	28.5	14.35
通期	9,321	6.6	305	35.0	320	8.4	179	13.4	31.23

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	5,738,000 株	23年3月期	5,738,000 株
24年3月期1Q	— 株	23年3月期	— 株
24年3月期1Q	5,738,000 株	23年3月期1Q	5,738,000 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載しております業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 四半期財務諸表 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第1四半期累計期間 .....	5
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	6
(4) セグメント情報等 .....	6
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7
(6) 重要な後発事象 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災及び原子力発電所の事故により混乱したサプライチェーンの立て直しは進んだものの、電力供給不安による経済活動の停滞が懸念され、先行きは非常に厳しい状況となっております。

介護サービス業界においては、〔キャリアパス制度〕等の介護職員の雇用条件の改善策が進むなか、平成24年4月の介護保険制度の見直しにむけて、増加する財政負担の財源などの問題が、官・民ともに活発に議論されております。

このような状況のもと当社におきましては、収益面では、既存施設において施設稼働率を上昇させるため、新規利用者の獲得とサービスの向上に努めました。利益面では、効率的な施設運営と経費削減に取り組むことで利益率の改善に注力し、四半期ベースで大幅な増収・増益を達成しております。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は22億66百万円（前年同四半期比4.8%増）となり、営業利益は1億50百万円（同449.7%増）、経常利益は1億55百万円（同251.2%増）、四半期純利益は89百万円（同296.2%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① デイサービス事業

当セグメントにおきましては、既存デイサービス施設のサービスの質の向上により施設稼働率の向上に努め、積極的な営業活動を展開したことで登録利用者数が堅調に増加いたしました。その結果、売上高は8億44百万円（前年同四半期比3.6%増）、セグメント利益は1億29百万円（同34.7%増）となりました。

#### ② 施設サービス事業

当セグメントにおきましては、既存の有料老人ホームの入居者獲得に注力し、入居率の向上に努めました。その結果、売上高は12億33百万円（同6.5%増）、セグメント利益は1億80百万円（同98.7%増）となりました。

#### ③ 在宅サービス事業

当セグメントにおきましては、利益率の改善のため人員配置や業務手順の見直し等、効率的な運営に取り組むことに注力してまいりました。その結果、売上高は1億88百万円（同0.8%減）、セグメント利益は1百万円（前年同四半期はセグメント損失9百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### ① 資産、負債及び純資産の分析

当第1四半期会計期間末における総資産は、前期末に比べて9億8百万円増加して100億41百万円となりました。これは、主として現金及び預金の増加及び、有料老人ホーム等の新規施設開設のための賃借契約の締結に伴う固定資産（リース資産・敷金等）の増加によるものであります。負債につきましては、短期借入金及びリース債務等の増加などにより、前期末に比べて8億77百万円増加し、87億59百万円となっております。また、株主資本は、利益剰余金の増加により、前期末に比べて31百万円増加して12億82百万円となりました。この結果、株主資本比率は12.8%となっております。

#### ② キャッシュ・フローの分析

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、前期末に比べ2億2百万円増加し8億31百万円となりました。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成23年5月10日の決算短信で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	629,016	831,740
売掛金	1,449,148	1,506,671
有価証券	85,810	85,810
繰延税金資産	87,859	149,704
その他	99,184	97,608
貸倒引当金	△3,056	△2,824
流動資産合計	2,347,963	2,668,711
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,692,808	1,665,157
土地	1,309,019	1,309,019
リース資産(純額)	1,885,625	2,376,115
その他(純額)	187,844	282,161
有形固定資産合計	5,075,297	5,632,454
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	19,932	19,964
長期前払費用	135,189	132,429
繰延税金資産	78,167	80,749
敷金及び保証金	1,329,460	1,348,182
その他	93,022	109,981
貸倒引当金	△1,532	△2,238
投資その他の資産合計	1,654,238	1,689,067
固定資産合計	6,784,958	7,373,139
資産合計	9,132,921	10,041,850

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	132,181	141,047
短期借入金	1,821,000	2,083,000
1年内返済予定の長期借入金	598,117	581,872
未払費用	173,477	444,693
未払法人税等	91,200	137,950
賞与引当金	170,662	43,918
その他	196,963	256,189
流動負債合計	3,183,602	3,688,670
固定負債		
長期借入金	2,109,901	1,964,544
リース債務	1,993,210	2,511,152
退職給付引当金	203,000	209,425
長期預り保証金	194,746	194,251
その他	197,960	191,393
固定負債合計	4,698,819	5,070,767
負債合計	7,882,421	8,759,437
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	432,280	432,280
資本剰余金	308,030	308,030
利益剰余金	510,230	542,124
株主資本合計	1,250,540	1,282,434
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△40	△21
評価・換算差額等合計	△40	△21
純資産合計	1,250,499	1,282,412
負債純資産合計	9,132,921	10,041,850

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	2,162,808	2,266,129
売上原価	2,009,287	1,980,019
売上総利益	153,521	286,110
販売費及び一般管理費	126,211	135,997
営業利益	27,309	150,113
営業外収益		
受取利息	2,072	2,331
助成金収入	36,968	37,496
雑収入	6,352	3,276
営業外収益合計	45,393	43,105
営業外費用		
支払利息	25,451	37,189
雑損失	2,836	60
営業外費用合計	28,287	37,250
経常利益	44,415	155,968
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,290	—
特別損失合計	3,290	—
税引前四半期純利益	41,124	155,968
法人税、住民税及び事業税	75,676	131,134
法人税等調整額	△57,082	△64,439
法人税等合計	18,594	66,694
四半期純利益	22,530	89,273

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	デイサービス事業 (千円)	施設サービス事業 (千円)	在宅サービス事業 (千円)	合計 (千円)
売上高	815,400	1,157,822	189,586	2,162,808
セグメント利益 又は損失(△)	96,323	90,892	△9,199	178,015

(注) 上記セグメント利益又は損失の金額には、下記の「介護職員処遇改善交付金」の金額が含まれております。

デイサービス事業	14,673千円
施設サービス事業	19,346千円
在宅サービス事業	1,198千円
合計	35,218千円

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	178,015
全社費用(注1)	△115,487
「介護職員処遇改善交付金」の調整額(注2)	△35,218
四半期損益計算書の営業利益	27,309

(注) 1. 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. 「介護職員処遇改善交付金」は、営業外収益の「助成金収入」に計上しておりますが、これに対応する費用が売上原価に計上されているため調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	デイサービス事業 (千円)	施設サービス事業 (千円)	在宅サービス事業 (千円)	合計 (千円)
売上高	844,629	1,233,338	188,160	2,266,129
セグメント利益	129,700	180,584	1,946	312,231

(注) 上記セグメント利益の金額には、下記の「介護職員処遇改善交付金」の金額が含まれております。

デイサービス事業	15,225千円
施設サービス事業	20,707千円
在宅サービス事業	1,188千円
合計	37,121千円



2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

利益	金額 (千円)
報告セグメント計	312,231
全社費用 (注1)	△124,996
「介護職員処遇改善交付金」の調整額 (注2)	△37,121
四半期損益計算書の営業利益	150,113

(注) 1. 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. 「介護職員処遇改善交付金」は、営業外収益の「助成金収入」に計上しておりますが、これに対応する費用が売上原価に計上されているため調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。